

【議事録】（概要）

会議名	第2回 第6次芦屋町総合振興計画後期基本計画審議会				会場		芦屋町役場 31 会議室	
日時	令和7年9月18日（木） 19：00～20:30							
件名・議題	1）会長あいさつ 2）審議会委員の紹介 3）議題 （1）実施した取り組みの報告及び施策評価について ①各種取り組みの報告 ・コミュニティ活動状況調査 ・中学生アンケート ・関係団体意見交換会 ・トップヒアリング ②第6次芦屋町総合振興計画前期基本計画の施策評価 （2）後期基本計画の現状と課題（案）について （3）その他							
委員の出欠	会長	廣川 祐司	出		中西 智昭	出		
		石川 智雄	出		吉岡 学	出		
		安部 信義	出		萩原 洋子	欠		
		山田 寛	出		中西 隆雄	出		
		福島 直人	出		中山 智幸	出		
		末廣 由香里	出		鹿島 由美	出		
	副会長	福原 光次	出		大庭 朱美	出		
		佐伯 慎也	出		倉田 智美	出		
		内海 猛年	出					
合意・決定事項	・ 本審議会については議事録作成のために音声録音を行うこととし、内容について委員の名前を伏せた要点筆記による議事録を作成することとした。 ・ 第6次総合振興計画前期基本計画の施策評価について、その内容は適当なものであると承認された。 ・ 議事録について事前に会長・副会長に会議録案を配付し、了承を得た上で公表することとした。 ・ 次回の審議会開催は、令和7年10月29日（水）の予定。							

■第2回 第6次芦屋町総合振興計画後期基本計画審議会 議事録

1 実施した取り組みの報告及び施策評価について

① 各種取り組みの報告

(事務局)

- ・ 議題（１）「実施した取り組みの報告及び施策評価について」説明

(委員)

- ・ コミュニティ活動状況調査（住民アンケート）について、「重要度、満足度ともに低い」の区画に「町内通信基盤の整備」とあるが、近年戸別受信機やホームページなどの施策が充実しているが、なぜ満足度が低いのか。

(事務局)

- ・ 「町内通信基盤の整備」の項目において整理している代表的な事業は、コミュニティ活動状況調査結果報告書（P19）に記載のとおり、町内の無料公衆無線 LAN（Wi-Fi）の整備などである。一方、戸別受信機やホームページなどは「町の情報の積極的な公表・発信」の項目に分類されている。

(委員)

- ・ コミュニティ活動状況調査（住民アンケート）中、「商店街の中心市街地の整備」について、全体的に住民からの満足度が最も低い項目であることに改めて問題意識を持っていただきたい。商店街に対する町のビジョンが不明確であるため、もう一步踏み込んだ施策の展開を検討いただきたい。

(事務局)

- ・ 「商店街の中心市街地の整備」の満足度・重要度等を踏まえ、取り組みを進めているところである。また、当事業は行政だけで実施できるものではない。商工会をはじめとする関係機関などとの連携や協力が必要となる。

(委員)

- ・ コミュニティ活動状況調査（住民アンケート）中、「公共交通の利便性」については、以前から重要度が高く満足度が低い状況が続いている。
- ・ 住民からは一層効果的な対策が求められているが、どのように検討しているのか。

(事務局)

- ・ 芦屋町は鉄道駅がないため、満足度が相対的に低くなりやすい傾向にある。
- ・ 一方、バス利用者へのアンケートでは、実際のバス利用者の満足度は高い結果となっている。
- ・ 両者のギャップを引き続き検証し、対策を講じる必要がある。

(委員)

- ・ 個人的な所感であるが、周囲では芦屋町の交通利便性は低いとの声が多い。
- ・ 鉄道駅がないことを要因とする説明があったが、鉄道駅のある岡垣町でも、駅から離れて居住する者は少なくない。そのため、課題は鉄道駅の有無ではなく、周辺駅と居住地をいかに結ぶかにあると考える。

(事務局)

- ・ 貴重な意見として担当課に情報共有させていただく。

(会長)

- ・ 公共交通機関の充実に関する数値目標として、「芦屋タウンバス利用者数」がある。今回の施策評価では、目標達成には至っていないものの、総合振興計画策定時と比較して増加傾向にある現状である。
- ・ コミュニティ活動状況調査における「公共交通機関の利便性に関する満足度の構成比」も令和元年度から向上している。今後は、アンケート結果を踏まえた施策を進めていく必要がある。

(委員)

- ・ トップヒアリング結果報告書「人づくり」に関する評価・課題について、施策内容を具体的に教えてほしい。

(事務局)

- ・ 資料6-2に主要施策に関する事務事業を整理しているが、「各種養成講座等の実施」や「人材育成事業補助金の拡充」などが挙げられる。

② 第6次芦屋町総合振興計画前期基本計画の施策評価

(事務局)

- ・ 「第6次芦屋町総合振興計画前期基本計画の施策評価」説明

(委員)

- ・ 「第5章第4節 芦屋港の活性化の推進」について、海上自衛隊の船等の寄港誘致は検討したことがあるか。技術的な難易度は不明であるが、寄港が実現すれば、観光客等の来訪機会が増え、港の活性化につながると考える。

(事務局)

- ・ 海上自衛隊の船舶の寄港誘致については、これまで検討を行っていないと認識している。

(委員)

- ・ 芦屋港は水深が浅く、喫水の観点から寄港は困難であると考ええる。安全確保の観点では、基本的に水深が10メートル以上必要である。

(委員)

- ・ 哨戒艇であれば喫水が浅いため、寄港が可能であると考えた。

(会長)

- ・ 他に意見がないのであれば審議会として、第6次芦屋町総合振興計画前期基本計画に係る施策評価はであるという結論でよい。

(委員一同)

異議なし

2 後期基本計画の現状と課題（案）について

（事務局）

- ・ 議題（２）「後期基本計画の現状と課題（案）について」説明

（委員）

- ・ 「第６章第５節 上水道・下水道」に関して、上水道は北九州市と事業統合しているが、下水道については具体的な施策はあるのか。

（事務局）

- ・ 下水道は単独で浄化センターを運営しているため、北九州市と比較して下水道使用料が高いとの意見がある。単独運営で人口規模に応じて維持する場合、料金水準は現状の高い水準となることがやむを得ない状況である。
- ・ 担当課において統合等を検討しているが、現時点で具体的な施策案を提示できる段階には至っていない。

（委員）

- ・ 現在広域連携で使用しているし尿処理施設の廃止が決定しているが、今後どう対応するのか。また、本計画にどのように掲載していくのか。

（事務局）

- ・ 今後の対応について、どこまで決定し、かつどこまで公表しているか把握できていない。
- ・ 本件については、計画に記載していくかどうかも含めて意見があった旨を担当課に情報共有・確認の上、次回会議にて報告させていただく。

（会長）

- ・ 下水道事業において、近隣市町村との広域連携等を検討する一方で、町による耐震化を含む施設整備を進めるとの認識でよいか。

（事務局）

- ・ お見込みのとおりである。

3 その他

特になし

【事務連絡】

(事務局)

- ・ 次回の審議会については、10 月 29 日（水）を予定している。正式に開催日程が決まり次第、開催案内を送付させていただく。